

New Technology Information System

日経コンストラクション 2021年7月26日号 広告別冊

日経
CONSTRUCTION
コンストラクション

NETIS

登録技術

2021

巻頭特集

活用が進むNETIS の現況と直轄工事における 新技術活用の推進

国土交通省 大臣官房技術調査課

NETIS登録技術

43技術の詳細紹介
工種別ガイド75件

● アジャスタブル腹起し

● マンホール土留

登録番号：KK-190035-A

登録番号：KK-130024-VE

開削工事におけるアルミ製仮設土留め機材

●「アジャスタブル腹起し(長さ調整機能付きアルミ製長尺腹起し)」

アルミ製で側圧を受ける4.5~7.0mまで伸縮可能な腹起しであり、開削工事の土留工に使用することができる。腹起しが長尺で水圧シリンダー式切り



浄化槽設置工事現場事例

梁を利用でき、切り梁設置間隔を広く取れ、管を水平に下すことが可能である。

●「マンホール土留(アルミ製水圧式スプリング内蔵四方張り土留)」

開削工事における仮設土留め機材の側圧を受ける腹起しと水圧シリンダーの一体型で構成され、地上から水圧ポンプで加圧・減圧を行うことで伸縮が可能である。

従来は山留め材を組み合わせてたり、腹起し材と水圧ジャッキを使用していたが、「アジャスタブル腹起し」に

「マンホール土留」を切り梁材として組み合わせて使用することで、最大7.0×6.0mの開口部まで対応可能。掘削深さ4.0mまで、最大4段まで設置可能で梁ピッチ、梁高さは計算による。

耐震補強工事・基礎構造物工事・共同溝ハンドホールなどの大型の開口部で、大型重機の入れない現場などに特に有効である。

お問い合わせ

日本スピードショア株式会社
事業推進部

〒575-0013 大阪府四條畷市田原台8-2-5

TEL 0743-78-8859 FAX 0743-78-8738

URL <https://speedshore.co.jp/category/netis>

E-mail jigyo-suishin@speedshore.co.jp